

令和2年10月6日（火）

第1回地域保健計画推進部会

子ども保健・給付課 資料 No.2-2 追加資料

令和元年度実績 第5次地域福祉計画 地域保健計画指標の推移について
(追加説明)

ページ	課題	項目
1	1	妊娠中、仕事を続けることに対して職場から配慮されたと思う就労妊婦の割合
<p>平成30年度 92.1%→令和元年度 96.9%と向上。妊娠届出時に就労している妊婦も増えている状況にあり、妊婦面接の際に、母子保健コーディネーターが母性健康管理カードの活用に関する相談や助言等を行っている。</p>		
2	3	地域と学校が連携した健康等に関する講習会の開催状況
<p>令和元年度は回田小学校において、学校教諭と連携して従前の4年生を対象とした保健体育の授業「育ちゆく体とわたし」に加え、6年生を対象とした授業「がんについて知る」を新たに実施した。</p>		
2	4	子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合
<p>令和元年度 86.3%と前年度から 0.1 ポイント増。国のベースライン値 83.3%を引き続き上回っている。</p> <p>この指標は、子どもの社会性の発達全般に関する知識の普及の度合いを示すものであり、育てにくさを感じる親が社会性の発達のプロセスを知ること、見通しを持って子育てに臨めるようになると共に、支援の円滑な導入にもつながると捉えている。</p>		